

Ⅲ. 創業に関する調査（10問）

問4 創業者の性別をお尋ねします

- ①男性
- ②女性

回答欄

問5 創業者の創業時の年齢についてお尋ねします

- ①29歳以下
- ②30歳代
- ③40歳代
- ④50歳代
- ⑤60歳以上

回答欄

問6 創業時の従業者の人数についてお尋ねします

- ①0人(創業者1人で開業)
- ②1～5人
- ③6～10人
- ④11人以上

回答欄

問7 創業時の経営形態についてお尋ねします

- ①株式会社等の法人
- ②個人経営

回答欄

問8 創業の動機についてお尋ねします(3つまで)

- ①企業経営・独立に興味があった
- ②自分の裁量で仕事をしたかった
- ③経験・資格を活かしたかった
- ④社会に貢献したかった
- ⑤自分の技術やアイデアを事業化したかった
- ⑥収入を増やしたかった
- ⑦自力で収入源を確保する必要に迫られた
- ⑧趣味や特技を活かしたかった
- ⑨やむを得ず失業したため
- ⑩希望する就職口が無かった
- ⑪空いた時間を活用したかった
- ⑫育児や介護と仕事を両立させるため
- ⑬その他(_____)

回答欄

問9 創業する時は、どこに相談しましたか(相談した順に3つまで記入)

- ①商工会議所
 - ②金融機関
 - ③市の関係部署
 - ④知人・友人
 - ⑤親族
 - ⑥相談をしないで創業した
 - ⑦その他(_____)
- } ⇒(1)へ

回答欄

1 2 3

(1) **問9で①～③と回答された方**にお尋ねします。上記相談先をどのように知りましたか

- ①新聞・雑誌を見て
- ②ホームページを見て
- ③関係機関のパンフレット、ポスターを見て
- ④知人・友人の紹介
- ⑤その他(_____)

回答欄

1 2 3

問10 創業時に苦勞したこと、また、現在苦勞していることは何ですか(各3つまで)

- ①資金調達
- ②顧客の開拓
- ③労働力の確保
- ④財務・税務・法務に関する知識の不足
- ⑤従業員の教育・人材育成
- ⑥経営の相談ができる相手がいない
- ⑦商品・サービスの企画、開発
- ⑧家事や育児などの家庭との両立
- ⑨その他(_____)

◆創業時の苦勞

回答欄		

◇現在の苦勞

回答欄		

問11 創業時にどのような支援策があれば活用しましたか(3つまで)

- ①創業補助金等の資金支援
- ②事業計画書の作成における相談
- ③中小企業診断士等の専門家による事業内容の相談
- ④創業における心構え等のセミナー
- ⑤実践的な営業能力のスキルアップを図るセミナー
- ⑥融資制度等による借入の相談
- ⑦商品及びサービス向上のための開発的な相談
- ⑧その他(_____)

回答欄		

問12 創業のために何が必要だと思えますか(3つまで)

- ①事業計画の作成(自分の事業を理解すること)
- ②競合相手や取引先の動向を把握すること
- ③十分な開業資金の確保
- ④創業前の営業等による顧客の確保
- ⑤開業前から行う事業の周知及びPR
- ⑥その他(_____)

回答欄		

問13 創業にかかる費用はどれくらいでしたか

- ①100万円未満
- ②100万円以上～200万円未満
- ③200万円以上～500万円未満
- ④500万円以上～1,000万円未満
- ⑤1,000万円以上

回答欄

⇒IVへお進み下さい